

共生社会の実現に向けて Vol. 11

問合先

役場企画課企画調整係
(内線213)

◆アンコンシャス・バイアス～権威バイアスと集団同調性バイアス～

アンコンシャス・バイアスとは、自分自身は気付いていない「ものの見方や捉え方のゆがみや偏り」のことで、ジェンダー平等や多様性を包摂する共生社会の実現を妨げている要因の1つで、200以上に分類されるといわれています。今回は、権威バイアスと集団同調性バイアスを紹介します。

▷権威バイアス

権威ある人や専門家の言動は間違いないと思いつみ、深く考えずに信用してしまうことです。これは、家庭や職場、学校など社会のいろいろな場面で考えられます。例えば、父親に権威がある家庭の場合、父親が何か差別的な考え方を持ってい

ると、子どもも同じような差別的価値観を持つてしまう可能性が高まるといわれています。同様のことが職場の上司と部下、学校の先生と生徒の関係でも起こる可能性があります。

▷集団同調性バイアス

ある集団に所属することで、集団内の人たちの言動に同調し、同じように行動してしまうことです。自分とは異なる意見があっても人に合わせたり、みんなが言っているからそれが正解だと思ってしまうことになります。ジェンダーバイアスやハラスメント、差別などが常態化している集団や環境にあると、それらがなかなか改善されない可能性があります。



▲SDGsゴール
10アイコン